

奈良県

定数：4名

立候補者数：5名



氏名 和田 善行

都道府県士会 奈良県

年齢 43

勤務先名称 平成記念病院



氏名 西田 宗幹

都道府県士会 奈良県

年齢 55

勤務先名称 秋津鴻池病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

| | | |
|---------------|-----------------|---------|
| 平成21年度～現在 | (公社) 奈良県理学療法士協会 | 新人研修委員 |
| 平成25年度～平成30年度 | (公社) 奈良県理学療法士協会 | 新人研修委員長 |
| 平成29年度～現在 | (公社) 奈良県理学療法士協会 | 理事 |
| 令和元年度～現在 | (公社) 奈良県理学療法士協会 | 事務局長 |

日本理学療法士協会は理学療法士の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、国民の医療、保健、福祉、予防、健康増進、介護、産業などの増進に寄与することを目的としています。国民や社会の要望に応えるために卒前卒後教育、継続できる生涯学習システムの確立が必要です。

併せて理学療法士を生涯の仕事としていけるように専門性を高め、社会へ認知されるように更なる活動が求められます。また、更なる会員間、他職種団体、養成校、行政等の連携強化が必要となってきます。

これまでの経験を生かし微力ではありますが、会員の皆様、国民の皆様に少しでも貢献できるように頑張りたいと思います。

会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

令和6年度の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービスのトリプル改定において、一番のトピックスはリハ職の処遇改善である。その他では急性期におけるリハ提供量の向上、医療介護連携では訪問・通所リハ実施において医療機関が作成したりハ実施計画書の入手及び把握の義務化、退院前カンファレンス参加の評価などリハサービスが効果的に提供できるものとなっている。しかし、そこには医療側のスタッフが在宅生活を具体的にイメージした対応ができること、介護側では医療で出来たこと、出来なかったことを整理し、「参加」獲得に向け、自分たちの役割が理解できることが求められ、この点ができて初めて効果を発揮する。

様々な対象者の社会的背景を把握し、どの病期に自分に対応しているのかを知り、「地域包括ケアシステム」の図に当てはめて自分が担っている役割を理解し、対象者にとって、地域にとって効果的な活動ができることが求められ、それにこたえる事ができないと今回のような処遇改善に向けた改正は、今後難しいと考えます。

私は奈良県士会の副会長として、また社会局長として、県や市町村の担当の方等と地域包括ケアシステムの推進に向けた様々な活動に参加させていただいています。また、災害や管理者ネットワークに関する事業にも関わっており、色々な視点から今回の改正から求められる「効果が出せる」理学療法士として、会員みんなが答えられるように、微力ではありますが協力できればと思い、前回に引き続き、今回も立候補させていただきました。会員の皆様と協力し、それぞれの地域で「理学療法士が協力してくれて助かった」「理学療法士は我々のために必要な存在」と言ってもらえるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

<協会・士会役員歴>

| | | |
|--------|-----------|-----|
| 平成21年～ | 日本理学療法士協会 | 代議員 |
| 平成19年～ | 奈良県士協会 | 理事 |
| 27年～ | 奈良県士協会 | 副会長 |



氏名 増田 崇

都道府県士会 奈良県

年齢 52

勤務先名称 奈良県総合医療センター



氏名 田平 一行

都道府県士会 奈良県

年齢 56

勤務先名称 畿央大学健康科学部

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

日本理学療法士協会
表彰委員長（令和3年度～現在）
奈良県理学療法士協会
会長（令和元年度～現在）
副会長（平成21年度～平成30年度）
事務局長（平成17年度～平成30年度）
理事（平成15年度～現在）

奈良県理学療法士協会会長として3年間
日本理学療法士協会と奈良県理学療法士協会が協働できるよう、
代議員として連携をとってきました。奈良県の内情と日本理学療法士協会の意向
を調整しながら理学療法のさらなる発展に寄与できればと考えています。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

協会・士会役員歴
H21 ～現在：奈良県理学療法士協会 理事
H27 ～現在：奈良県理学療法士協会 学術局長
H28 ～現在：日本理学療法士協会 代議員
H29 ～R3：日本呼吸理学療法学会 運営幹事
R元年 ～現在：奈良県理学療法士協会 副会長
R3 ～現在：（一社）日本呼吸理学療法学会 理事

立候補の趣旨
現在日本理学療法士協会は、理学療法士の質の維持と向上のために生涯学習や分科学会など、専門理学療法士制度の改革を進めています。私は平成16年に本会に入会した後、主に学術面において本会に関わってきました。奈良県理学療法士協会では学術局長、副会長を、日本理学療法士協会では認定理学療法士の必須研修会の講師や認定試験委員、（一社）日本呼吸理学療法学会の理事を務めています。
これらの経験を活かし、代議員としても引き続き本会のお役に立てればと考えております。会員の皆様のご支援を、宜しく願い申し上げます。



氏名 中村 潤二

都道府県士会 奈良県

年齢 39

勤務先名称 西大和リハビリテーション病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

協会・士会役員歴

2011年～2015年 奈良県理学療法士協会 生涯学習部 副部長
2015年～2023年 奈良県理学療法士協会 生涯学習部 部長
2021年～ 日本理学療法学会連合 日本物理療法療法研究会 理事

立候補の趣旨

この度、代議員に立候補させていただきました西大和リハビリテーション病院の中村と申します。

奈良県理学療法士協会においては、生涯学習部に所属し、生涯学習制度の履修の支援などを務めさせていただきました。

新たな生涯学習制度となり、会員の皆様からの様々な意見が聞かれます。

生涯学習は、多様な役割を求められる理学療法において、非常に重要な基盤となるものだと考えます。そのため、会員にとって継続的な学習機会を得られるものである必要があります。

私は日本理学療法士協会と会員の皆様を繋ぐパイプとしての役割である代議員の活動を通じて、生涯学習制度をはじめ、協会運営について会員の皆様の声を協会に伝え、理学療法士業界の発展に寄与したいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。